

UQ コミュニケーションズ、Oracle Cloud Infrastructure で 事業継続性を強化

～ 基地局建設業務システムの本番および DR 環境をクラウド化、
Oracle Data Guard で BCP を強化しながら運用コストを 25%削減～

[日本オラクル株式会社](#)（本社：東京都港区、取締役 執行役 社長：三澤 智光）と[株式会社アシスト](#)（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 辰男）は、[UQ コミュニケーションズ株式会社](#)（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：竹澤 浩）が提供する UQ WiMAX の基地局建設業務システムのクラウド移行および災害復旧（DR）環境の構築に「[Oracle Cloud Infrastructure \(OCI\)](#)」が採用され、東京、大阪の 2 拠点で稼働を開始したことを発表します。可用性を向上し事業継続力を強化しながら、運用管理コストを 25%削減しています。

UQ コミュニケーションズの中核事業のひとつである WiMAX サービス事業は、常に最新技術の導入による高速化や通信品質向上に取り組み続けており、3,800 万超の契約実績（2023 年 3 月時点）を誇ります。WiMAX サービス事業を支える「基地局建設業務システム」は、同社が Linux サーバー上に構築し、屋外だけでなく屋内も含む全基地局の建設、運用から撤去までを一元管理しています。

その基幹システムを運用していたサーバーセンターの終了にともない、障害時の復旧時間がかかりすぎるなどの課題を解決するため、コストや運用工数なども含めたシステム環境全体を見直すこととしました。性能、移植の容易さ、コストメリット、セキュリティの強固さや閉域網の利用、東京・大阪の国内複数リージョンの利用が可能などの選定基準を満たし、同社の基盤に最も適しているとして採用されたのが OCI でした。

同社ではまず、2020 年 5 月に DR 環境を Oracle Cloud 東京リージョンの「Oracle Base Database Service - Standard Edition」上に構築し、翌 6 月から、DR 環境構築時のスキルを生かし、以下の 2 段階で本番環境のクラウド化と可用性強化を実施しました。

- 第 1 段階：本番環境のクラウド化
2021 年 1 月に大阪リージョンに本番環境の構築を開始し、約 5 ヶ月でデータ移行までスムーズに完了。6 月に運用開始（本番環境は大阪リージョン、DR 環境は東京リージョンと 2 拠点を活用）
- 第 2 段階：可用性の強化
本番環境と DR 環境のリアルタイムなデータ連携を実現するため、「Oracle Data Guard」を採用。「Oracle Data Guard」実装のため、この時点で上位エディションである「Oracle Base Database Service - Enterprise Edition」へ変更し、「Oracle Database 12c」から「Oracle Database 19c」へのアップグレードも併せて実施

DR 環境構築と本番環境のクラウド移行までは、オラクル製品の豊富な導入実績とノウハウを持つアシストの「Oracle Cloud 環境構築支援サービス」を活用し、短期間でスムーズな運用開始を実現しました。その 2 年にわたる構築経験により、UQ コミュニケーションズに OCI に関する社内ナレッジが大きく蓄積され、可用性の強化段階では、アシストの伴走支援を得ながら内製化で実現、一連の構築作業は 2022 年 8 月にトラブルなく完了し、運用開始に成功しています。

OCI での DR 環境の構築、本番環境のクラウド化、可用性強化という 3 段階を経て、約 10 ヶ月経過した現在、UQ コミュニケーションズの基地局建設業務システムは安定稼働を続け、次のような効果も得ています。

- OCI の 2 拠点運用による事業継続体制が完成し、2 拠点分の「Oracle Database」のエディションをアップグレードしてもなお、運用管理コストを 25%削減
- ディスクや性能の課題に煩わされない、安定稼働
- 蓄積したナレッジを利用した作業の内製化により、構築・移行コストを削減

UQ コミュニケーションズでは今後、自社で蓄積したスキルとナレッジを活用することを前提に、アシストのスキルトランスファー型の各種支援サービスも利用しながら、他システムのクラウド移行を視野に入れていきます。また、OCI や「Oracle Database Enterprise Edition」のメリットを最大限生かし、「Oracle Database」以外のテクノロジーを含むシステムの総合監視なども構想として検討中です。

▼本事例の詳細 URL

https://www.ashisuto.co.jp/case/industry/telecommunication/uqwimax_oci_2023.html

本発表に向けたお客様からのコメント

「災害対策サイト構築から Oracle Cloud の利用を始めましたが、本番サイト構築後も安定的に稼働しており、BCP の強化、運用管理コストの削減の両面で良い選択だったと感じています」

UQ コミュニケーションズ株式会社 建設部門 兼子 智 氏

日本オラクルについて

私たちのミッションは、人々が新たな方法でデータを理解し、本質を見極め、無限の可能性を解き放てるよう支援していくことです。データ・ドリブンなアプローチにより情報価値を最大化するクラウド・サービス、それらの利用を支援する各種サービスを提供しています。オラクル・コーポレーションの日本法人。東証スタンダード市場上場（証券コード：4716）。URL：[//www.oracle.com/jp/](http://www.oracle.com/jp/)。

オラクルについて

オラクルは、広範かつ統合されたアプリケーション群に加え、セキュリティを備えた自律型のインフラストラクチャを Oracle Cloud として提供しています。オラクル（NYSE:ORCL）に関するより詳細な情報については、[//www.oracle.com](http://www.oracle.com) をご覧ください。

アシストについて

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースを中心に、近年ではクライアント仮想化やビジネスルール管理分野も拡充し支援しています。2018 年から、さらなる顧客志向を目指した「超サポ愉快カンパニー」をビジョンとし、アシストの強みを生かした付加価値の最大化を図っています。

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/>

■プレスリリースに関するお問い合わせ

日本オラクル株式会社 広報室 石山

Tel: 03-6834-3238/E-mail: pr-room_jp@oracle.com

株式会社アシスト 広報担当 田口、曾根原

Tel: 03-5276-5850/E-mail: press@ashisuto.co.jp

URL: https://www.ashisuto.co.jp/corporate/press_room/

※Oracle、Java、MySQL 及び NetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。